

JAIA輸入電動車普及促進イベントin神戸、開催

オープンストリートを活用して、 幅広い層へ輸入電動車の魅力伝える

日本自動車輸入組合（上野金太郎理事長、JAIA）は、7月14・15日に旧居留地明石町筋（兵庫県神戸市）で「JAIA輸入電動車普及促進イベント in 神戸」を開催しました。

3回目となる今回は、初の試みとして、オープンストリートを活用した公開展示をすることで、業界関係者だけでなく一般カーオーナーも参加できるイベントとしています。輸入電動車の認知向上だけでなく、充電インフラやリサイクル分野など、普及促進に伴う課題も来場者に知ってもらう機会として、四輪車インポーター10社、二輪車インポーター1社のほか、充電関連企業8社、リサイクル関連企業2社が参加しました。



Hyundai Mobility Japan



新たなマットカラーを採用したIONIQ 5 Lounge AW D Limited Edition (左)、NEXOを展示

テスラモータージャパン



Model Y、Model 3の短時間充電での走行距離の長さをアピールし、注目を集めた

ビー・エム・ダブリュー



昨年の展示車両に、i7 xDrive60 Excellence、iX1 xDrive30 M Sportを加えた

ビーワイディージャパン



SEAL (海豹)、DOLPHIN、ATTO 3を展示しデザイン性と充電走行性能をPR

NGP、福岡と秋田に水害対策本部を設置

被災地の復興支援に向けて、各地で組合員が尽力

梅雨前線の停滞や線状降水帯の発生により、各地で大雨による被害が発生しています。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、尊い命を落とされた方のご冥福をお祈り申し上げます。

7月10日に発生した線状降水帯により、九州地方北部で記録的な大雨となり、多くの家屋や自動車が浸水被害を受けました。特に久留米市近郊で大きな被害が発生しており、NGPは被災地域近くのうきは市に対策本部を設置し、7月18日より被災車両の引き取り作業を開始しています。

また、7月14～16日にかけては東北地方に梅雨前線が停滞し、秋田県内で大雨による甚大な被害が発生しました。この大

規模災害の発生を受けてNGPは秋田市近郊に対策本部を設置し、7月24日から被災車両の引き取りを開始しました。

今年に入り、台風2号の影響による6月

の豪雨をはじめとして、7月の九州及び東北での大雨など、大きな水災害が続いています。NGPは被災地の復興を支援するため、今後も迅速に対応して参ります。



うきは市に設置した水害対策本部



秋田市近郊に設置した水害対策本部

日本自動車リサイクル部品協議会、市場規模アンケート調査結果を発表

使用済み自動車引き取り件数の減少の影響が色濃く反映される

日本自動車リサイクル部品協議会（佐藤幸雄代表理事）は7月、自動車リサイクル市場に関するアンケート調査の結果を発表しました。

同協議会は自動車リサイクル部品流通団体による組織で、NGP協同組合も加盟しています。今回発表したアンケート調査結果は、同協議会の会員団体に所属する自動車リサイクル事業者に対して実施したもので、2022年年間（1～12月）のリサイクル部品販売実績などについて235社から回答を得ています。

その結果、2022年における全回答社会計のリサイクル部品売り上げ金額は85,040,236千円（うち国内：63,880,261千円、輸出：19,085,724千円）、素材（鉄、非鉄、プラスチックなど）売り上げ金額は37,990,644千円、使用済み自動車の入庫台数は798千台でした。

前年調査と回答社が異なるため単純な比較はできませんが、参考として1社当たりの平均値で比較すると、リサイクル部品売

り上げ金額は前年比8.7%減となる361,873千円、そのうち国内販売は271,831千円（同2.9%減）、輸出版売は81,216千円（同27.2%減）、素材売り上げ金額は161,662千円（同10.7%減）、使用済み自動車の入庫台数は3,397台（同15.3%減）と、いずれも減少傾向が見られました。

2022年は半導体不足等を受けた新車減産などの影響により、国内全体で使用済み自動車引き取り件数が前年から大きく減少しました。その影響が本アンケート結果に

も色濃く表れています。

私たち自動車リサイクル業界は、今後も高品質なリサイクル部品を提供し続けることによって、整備・钣金塗装事業者の皆さまを支援して参ります。しかし昨今の社会情勢などの影響から、リサイクル部品を生産するための使用済み自動車の仕入れが困難な状況が続いています。使用済み自動車引き取りのご相談は、ぜひお近くのNGP組合員までお声がけいただければ幸いです。

NGP 今月のCO₂削減量



リユース部品利用に伴うCO₂削減量

令和5年6月： **2,004t**

※自動車リサイクル部品産学共同研究会が、「自動車リサイクル部品による環境負荷低減効果の研究」の結果をもとに、NGPが販売したリユース部品の90品目（左右ある部品を含む）115品目を対象に算出した数値です。



リターナブル梱包材利用に伴うCO₂削減量

令和5年6月： **0.6t**

※リターナブル梱包材の利用に伴う削減効果はNGP協同組合独自のCO₂排出量削減の取り組みです。段ボールに代えて、専用梱包材を繰り返し使用することを前提に削減効果を算出しております。

(株)共伸商会、中学生の工場見学を受け入れ

NGP日本自動車リサイクル事業協同組合に加盟する(株)共伸商会(佐藤幸雄社長、新潟県新潟市)は5月20日に新潟市立木戸中学校から、7月10日に新潟明訓中学校から、それぞれ工場見学を受け入れました。

この工場見学会は生徒達が企業のSDGsの取り組みについて学ぶことを目的として企画されたもので、新潟県内でSDGsに積極的に取り組む企業として同社に協力依頼があり、開催に至りました。

工場見学会では、自動車リサイクル事業者及びNGP協同組合の取り組みを紹介する動画を視聴した後、実際に工場内を見学しています。見学した生徒達からは「SDGsの活動を始めた理由は?」、「使用済み自動車はどこから回収しているのですか?」などの積極的な質問がありました。

同社の佐藤陽輔常務は「当社はSDGsに

向けた取り組みの一つとして、子どもたちに向けた教育支援を掲げています。また、工場見学を通じて自動車リサイクル業界を知ってもらい、私たちの仕事に興味を持ってもらえればと考え、工場見学を受け入れ

ました。これからも、子どもたちに自動車リサイクルの大切さを伝えるための活動を、積極的に展開していきたいです」と、今後も各種活動を通じて、地域社会に貢献していく考えを示しています。



KMI(株)、工場見学会を開催

NGP日本自動車リサイクル事業協同組合に加盟するKMI(株)(伊藤孝雄社長、岐阜県養老郡)は6月14日、自動車リサイクル促進センター(細田衛士理事長、JARC)が主催するSDGsプログラムに協力し、立命館大学経済学部の学生を対象とした工場見学会を開催しました。

JARCのSDGsプログラムとは、環境経済学を学ぶ大学生を対象として、自動車リサイクル業界における各種取り組みを学ぶための工場見学会を開催し、循環型社会の実現に向けた学習につなげてもらうことを目的とした取り組みです。

見学会では、同社スタッフの説明を受けながらリサイクル部品の生産現場や自動車リサイクル法を遵守した適正処理作業を見学しており、参加した学生たちはリサイクル業界の取り組みに対する理解を深めていました。



(有)オートリサイクルナカシマ福岡、工場見学会を開催

NGP日本自動車リサイクル事業協同組合に加盟する(有)オートリサイクルナカシマ福岡(中島邦晃社長、福岡県筑紫野市)は6月24日、自動車リサイクル促進センターが主催するSDGsプログラムに協力し、西南学院大学経済学部の学生を対象とした工場見学会を開催しました。

見学会では、同社スタッフの説明を受けながら、再利用可能な部品の取り外しや、フロン類、オイル類、エアバッグの回収、再資源化に向けた素材の分類作業などを見学しました。見学を終えた学生からは、電気自動車の増加による自動車リサイクルへの影響について質問があげられるなど、自動車技術の変化を受けた業界の対応に高い関心が寄せられました。



NGP組合員 かわら版

第22回ハイブリッド・次世代技術セミナー開催 電動車に対する知識と技術を学ぶ



第22回ハイブリッド・次世代技術セミナーが6月19・20日の2日間、(株)あいおいニッセイ同和自動車研究所の東富士センター（静岡県裾野市）で開催されました。

同セミナーは、ハイブリッドシステムの種類や構造を学ぶとともに、スキャン

ツールを用いたバッテリーの点検やバッテリー脱着などの実習を通じて、電動車に対する知識を深めることを目的としたものです。

研修を終えて、(株)オートパーツ幸城の山根祐樹さんは「実習ではスキャンツールを使ってバッテリーデータを測定し、

バッテリーの良否判定をする際のポイントや基準値などを教えていただきました。今後の業務に活かして、品質向上に努めていきたいです」と、研修で得た知識と経験を実務に活かしていく構えです。

第17回初級生産管理者・フロントマン研修会開催

NGPの理念を理解し、 お客様から信頼されるビジネスパーソンに



第17回初級生産管理者・フロントマン研修会が7月4～6日の3日間、Bum B東京スポーツ文化館（東京都江東区）で開催されました。

研修では、業務における心構えやNGPシステムの活用方法などについて学ぶとともに、2日目には小林信夫理事長からNGPの理念やこれまでの活動に関する講話を受けました。その中で小林理事長は「NGPの基本理念は、三大信条に集約されています。お客様あつての

会社であり、お客様第一を実践し、商品を正確に、またその付加価値を高めてより早くお届けする姿勢を貫くことが、信頼を獲得し続けることにつながります。

商品を生産・販売するNGPの一員として、このことだけは必ず覚えて、行動に移すようにしてください」と、NGPの一員としての心構えを伝えました。そして講話の最後に、これからのNGPを担う受講生に向けて「これからのNGPを支えていっていただきたい」とエールを送り

ました。

研修を終えて、(有)青木興業の岡田浩平さんは「今回の研修で学んだことを活かして、お客様第一の精神を忘れずに、信頼されるフロントマンになれるように日々の業務に取り組んでいきます」と、研修で学んだことを会社の発展につなげる決意を示しています。

NGP 協同組合本部及び(株)NGP 本社移転のお知らせ

NGP日本自動車リサイクル事業協同組合ならびに(株)NGPは、7月18日より次の住所に移転いたしました。

これを機にさらに皆様方のご愛顧を得られますよう専心努力いたします所存でございますので今後ともなお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

■新住所

〒108-0075 東京都港区港南2-12-32 サウスポート品川4F

■新電話番号及びFAX番号

NGP日本自動車リサイクル事業協同組合

電話：03-6705-1208 FAX：03-6705-1209

株式会社NGP

電話：03-6705-1212 FAX：03-6705-1201

訃報

令和5年6月23日、関西支部組合員・株式会社多田自動車商会（兵庫県神戸市）代表取締役会長 多田幸四郎（ただ こうしろう）様（NGP日本自動車リサイクル事業協同組合顧問・株式会社NGP顧問）がご逝去されました（享年78歳）。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

令和5年6月28日、九州支部組合員・株式会社オートリサイクルナカシマ（大分県日田市）会長 中島正則（なかしま まさのり）様がご逝去されました（満78歳）。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

NGPグループを草創期より支え、グループまた業界の発展のため尽くされた「NGPチャーターメンバー」ご兩名のご功績に深謝申し上げるとともに、謹んで深く哀悼の意を表します。

NGP日本自動車リサイクル事業協同組合事務局

〒108-0075 東京都港区港南2-12-32 サウスポート品川4F
TEL:03-6705-1208 FAX:03-6705-1209
<https://www.ngp.gr.jp/>

株式会社NGP

〒108-0075 東京都港区港南2-12-32 サウスポート品川4F
TEL:03-6705-1212 FAX:03-6705-1201
<https://www.ngp.co.jp/>



ZERO®
CO₂
PRINT



FSC® 森林認証紙、ノンVOCインキ（石油系溶剤0%）など印刷資材と製造工程が環境に配慮されたグリーンプリンティング認定工場にて、再生可能エネルギー100%で印刷。印刷会社が所有する施設や車両、購入した電力などエネルギーの製造時に排出されるCO₂全量をカーボンオフセット（相殺）した「CO₂ゼロ印刷」で印刷しています。